

## 平成24年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成24年1月1日～平成24年6月30日）の火災・救急・救助統計は次のとおりです。

### 火災

#### 出火原因 1位「放火・放火の疑い」

上半期に市内で発生した建物火災26件のうち住宅火災は13件ありました。

火災の出火原因の1位は「放火・放火の疑い」です。深夜や未明に、建物の周囲・駐車中の車などが狙われますので、対策としては、家の周りは外灯を付けるなど明るくし、燃えやすい物を置かないなどの「放火されない地域づくり対策」が必要です。

#### 火災概況

▲は減を示す

区分		平成24年上半期	平成23年上半期	比較
火災件数合計（件）		56	73	▲17
火災種別	建物火災	26	37	▲11
	うち住宅火災	13	24	▲11
	林野火災	2	11	▲9
	車両火災	10	9	1
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	18	16	2
死者（人）		1	3	▲2
負傷者（人）		4	7	▲3

#### 出火原因

▲は減を示す

火災原因	平成24年上半期		平成23年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	4	2	0	0	4	2
こんろ	0	0	5	4	▲5	▲4
かまど	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	1	1	2	1	▲1	0
炉・焼却炉	1	1	0	0	1	1
ストーブ	1	1	3	2	▲2	▲1
煙突・煙道	1	1	2	3	▲1	▲2
排気管	1	0	0	0	1	0
電気装置	3	1	0	0	3	1
電灯・電話等の配線	0	0	1	0	▲1	0
配線器具	1	1	1	1	0	0
火あそび	3	0	2	0	1	0
マッチ・ライター	1	0	1	0	0	0
たき火	5	0	16	1	▲11	▲1
溶接機・切断機	0	0	1	0	▲1	0
灯火	0	0	2	2	▲2	▲2
火入れ	1	0	0	0	1	0
放火	2	0	11	4	▲9	▲4
放火の疑い	5	0	2	1	3	▲1
取灰	1	0	0	0	1	0
その他	3	1	3	0	0	1
不明・調査中	22	4	21	5	1	▲1
合計	56	13	73	24	▲17	▲11

**救 急****出動件数が 3 2 2 件増加**

上半期に市内で発生した救急出動件数は、6, 506 件で、昨年同期と比較すると、出動件数は 3 2 2 件、搬送人員は 1 3 5 人とそれぞれ増加となりました。事故種別出動内訳は、急病が 4, 0 0 4 件と最も多く全体の約 6 2 % を占め以下、一般負傷 1, 0 1 9 件（約 1 6 %）、交通事故 6 1 6 件（約 9 %）でした。

医療機関へ搬送した傷病者の内、軽症患者の割合は、約 4 9 % を占めています。緊急性のない軽症患者の方を救急車で搬送すると救急病院に患者が集中するため、本当に必要な方の搬送病院がなくなることが全国的にも問題になっています。

1 1 9 番通報する前にもう一度考えてみてください。そうする事により本当に救急車を必要とする方の貴い命が救われることとなりますので、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

**救急概況**

区 分	平成 2 4 年上半期	平成 2 3 年上半期	比 較
出 動 件 数	6, 5 0 6	6, 1 8 4	3 2 2
搬 送 件 数	5, 8 5 1	5, 6 8 8	1 6 3
不 搬 送 件 数	6 5 5	4 9 6	1 5 9
搬 送 人 員	5, 9 1 8	5, 7 8 3	1 3 5

**救 助****水難事故に注意**

上半期に市内で発生した救助件数は 4 6 件でした。その主な内訳は、交通事故 2 7 件で全体の約 5 9 % を占め、次いで水難事故 3 件、建物等による事故 3 件、ガス及び酸欠事故 1 件、機械による事故 1 件、その他の事故 1 1 件でした。

昨年同期と比較すると、出動件数は約 3 %（2 件増）の増加となりました。

出動件数 4 6 件の内、現場で活動した件数は 3 3 件で 3 8 人を救助しました。活動件数に入っていない 1 3 件については、救助隊が到着するまでに自力脱出したり、付近の住民の方などにより救出されたものです。

夏の行楽シーズンは水の事故が多発するので十分注意してください。

**救助概況**

区 分	平成 2 4 年上半期	平成 2 3 年上半期	比 較
出 動 件 数	4 6	4 4	2
活 動 件 数	3 3	2 7	6
救 助 人 数	3 8	3 2	6